

三、滝呂陶工争議（滝呂製陶所労働組合）

原 因 賃金値下反對（資本家より一割五分値下通告）
人 員 二百三十五名
罷業日数 五十二日
結 果 調停者より妥協 八分五厘値下、争議費用八百円受取り、
時 日 大正十五年九月三日……十月廿五日

四、下品野陶工紛議（品野陶工組合）

原 因 賃金値下反對（資本家より二割乃至三割要求）
人 員 百六十名
罷業日数 七
結 果 七分五分協
時 日 昭和二年一月七日より十日

五、瀬戸陶工争議（瀬戸陶工組合）

原 因 賃金値下反對（資本家より二割乃至三割値下申渡し）
人 員 約四百名
罷業日数 八日（昭和二年一月十八日……二十五日）
結 果 七分五厘値下承認、団体協約成立

六、水野陶工争議（水野陶工組合）

原 因 賃金値下反對（資本家より一割値下要求）
人 員 七十五名
罷業日数 二日（昭和二年三月二十日、五日）
結 果 十五日間に限り承認、三月十五日より復旧、外に職工扶助規程制定の筈にて協議進行中

七、上品野陶工争議（上品野陶工組合）

原 因 賃金値上要求（職工側より一割五分値上要求あり）
人 員 百二十余名